

「アルゼンチンの日の集い」

11月22日、アルゼンチン共和国大使館から、エドゥアルド・テンポーネ特命全権大使をご招待し、長田小学校において、第35回「アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

長田小学校とアルゼンチン共和国との歴史も今年で91年目を迎え、益々深まりを増しております。

今後も、当町の国際理解教育と国際交流・友好関係がますますの深化に向けて町と協力してまいります。



大韓民国 地方時代委員会 ウ・ドンギ委員長来町

11月27日、大韓民国の地方時代委員会ウ・ドンギ委員長（大臣級）、イ・ジョンヒョン副委員長、ソン・ウンギ地方戦略局長、ほか関係者11名が地方創生の先進事例視察のため来町されました。

この度の視察では、国際的な交流を通じた新たな視点やアイデアを得るため貴重な機会でありました。

今後も、国際交流の推進を町と協力してまいります。



鳥取県岩美町視察研修

境町議会では、12月17日・18日の2日間、議会全体研修として、鳥取県岩美町へ視察研修に行っていました。

今回の研修は、令和5年7月に、岩美町の「道の駅さなんせ岩美」と境町の「道の駅さかい」が友好交流協定を結び、交流を深めており、両町の発展に向け視察研修を計画したものでございます。

17日には、岩美町長戸清町長、岩美町議会橋本恒議長並びに、岩美町議会議員の皆様と境町議会議員との懇親会を開催し、岩美町の現状について説明いただきとともに、意見交換をさせていただきました。

18日には、岩美町に「優しい漁業」を目指す養殖場があり、サバの養殖を陸上の水槽で手がけている「地下海水井戸陸上養殖センター」を視察いたしました。

育てているサバは2種類、JR西から受け継いだ「お嬢サバ」と「べっぴんサバのさばみちゃん」、共に自社ブランドの

サバを、直径8メートルの水槽9基の中で計約4万匹、養殖されており、養殖のためくみ上げた海水は常時約20度で、気候に左右されない安定した環境が整い、海上と違い食中毒の原因となる寄生虫が付く心配もなく、刺し身で食べられる品質の高いサバを持続可能な漁業として陸上養殖をされておりました。

岩美町長や岩美町議会議員と境町議会議員の交流の場が持てたことにより、今後更に両町議会の友好を深め、また、両町の発展に向け交流を深めてまいりたいと思います。

今回の視察に当たり、岩美町関係者の皆様に熱心に対応していただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町391-1 TEL 0280-81-1316 FAX 0280-87-5873 <http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>